

stories

広報かわねほんちょう

天空焦がす炎の柱

4年に一度の敬満大井神社祭典（千頭）は10月23日に開かれた。山車が地区内を練り歩き、住民総出の輪踊りがにぎわいを見せた。写真は夜の部。手筒花火の炎が闇闇を真っ赤に染め上げる。かなり重量がある中筒を、男は軽々と頭上へと持ち上げ、観客に披露。火の粉を体全体に浴びながら、それでも微動だにしない勇ましい男のシルエットに、観客の拍手が鳴り止むことはなかった。 関連2-5ページまで

2010
12
No,62